

大阪河崎リハビリテーション大学 和歌山サテライト

コミュニケーション科学領域 宇都宮 洋才

本年度9月1日より和歌山サテライトが開設されたのでご紹介させていただきたい。

本サテライトは、和歌山県の県都である、和歌山市の和歌山駅より徒歩数分といった至極便利な場所で、和歌山県民ならば誰もが知る「みその商店街」の中に開設された。

本サテライトは、和歌山県での本学の認知度の向上を図り、受験層の一層の増加の起爆剤にすることは無論であるが、研究活動に活用することも付記する必要がある。

和歌山サテライトは、【①セミナーの開催】、【②地域交流の場】、【③理学療法士・作業療法士・言語聴覚士といったリハビリ職の交流・活動の場】と考え、活動を進めている。

これまで【①セミナーの開催】として、10月14日に和歌山サテライト開設記念講演を開催した。当日は定員を上回る参加者に来所いただいた。古井透教授に大学の特徴について紹介をしていただき、アメリカ合衆国フィラデルフィアにあるテンプル大学医学部教授に、「留学の勧め」と「アメリカの研究生生活と住環境とコミュニティ」について特別講演を行っていただいた。本特別講演を受講するために、多くの高校生の参加が見られたことが特記されるべきことだと思われる。

また、本学がリハビリ大学であるという特色を活かした活動として、和歌山県内の建築士・建築会社より、「我が国の抱える課題として少子高齢化があるが、本当に認知症や介護が必要な方に必要な建築とは、について教授いただきたい」とのリクエストがあった。また、建築士より「リハビリ・認知症に強い建築士・建築会社を標榜できるようになることを目的とし、疾患や年齢に応じた必要な設計や建物について学びたい」とのリクエストを受け、本学の教職員による建築士や建築会社社員等へのセミナーや勉強会を行っている。さらに、これら建築関

係者との討議を進めるなかで本活動に興味を示した高校生から、「今回の研究活動に高校生も加えてもらい、高校生ならではの研究を行いたい」との希望が寄せられ、高校生の発想で高校生ならではの研究活動を行っている。

【②地域交流の場】としては、本学和歌山サテライトは、我が国初の民間ロケット会社による「カイロスロケット」の公式パートナーとなっており、12月14日公式サテライト会場として和歌山県串本町での打ち上げの様子を生中継した。残念ながら打ち上げは最終段階で断念することとなったが、次回以降の打ち上げの成功の様子を提示したいと願っている。

これらの和歌山サテライトでの活動は、和歌山県内のテレビや新聞で幾度も取り上げられている。これらのマスコミへの広報の結果、和歌山県内の企業よりいくつかの相談や提案を受けており、これらの相談や提案を新たな課題として研究を開始できないかと検討している。

和歌山サテライトを活躍の場として、本学の新たな活動を広げていきたいと考えており、学内の教職員の方のさらなる協力をお願いしたいと願っている。

